

科目名	漢方治療学			ナンバリング	CHE481	授業形態	講義
対象学年	4	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1単位
代表教員	松本司	担当教員	○松本 司				

授業の概要	現代医療で使用される漢方薬について理解するために、代表的な漢方方剤の効能・効果、使用時に留意しなければならない相互作用、漢方処方が適応となる代表的な疾患と応用についての基本的知識を修得することを目的とする。講義では、漢方治療の基本理論、代表的な漢方処方の効能効果を説明し、その漢方処方が適応となる代表的な疾患と応用を概説する。さらに、漢方製剤を用いる場合に留意しなければならない副作用や相互作用など、服薬指導に必要な基礎知識についても併せて講義する。
到達目標	1.漢方薬の特徴、漢方医学の理論(陰陽・虚実・気血水等)および漢方医学に特有な診断方法について概説できる。 2.桂枝湯類(桂枝剤)、麻黄湯類(麻黄剤)、柴胡湯類(柴胡剤)、瀉心湯類(芍薬剤)、人參湯類(人參剤)と参茸剤、附子剤、地黄剤、白虎湯類と石膏剤、および承気湯類(大黄剤)の関連処方とその適応、主要な構成生薬について説明できる。 3.循環器系疾患、代謝・内分泌系疾患、腎・泌尿器系疾患、リウマチ・自己免疫疾患・アレルギー疾患、外科、および精神科等に用いられる漢方処方について説明できる。 4.がん治療など現代医療の現場における漢方薬の役割について説明できる。 5.漢方薬の使用上の注意点、相互作用、副作用とその兆候を例示して説明できる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	1年次の「薬の基原」、2年次前期の「生薬学」、および2年後期の「漢方薬学」と関連の深い教科であるため、これらの教科の復習をしながら、漢方薬学を学習することを強く望む。
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】
	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。
	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。
	○ 3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。
	○ 4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。
	○ 5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
漢方医学の特徴について概説できる。 配合生薬により漢方処方の分類ができる。 「証」や「陰陽」、「気血水」などの漢方医学の基本用語が例示できる。 漢方薬の使用上の注意点、相互作用、副作用を説明できる。 代表的な漢方処方の適応症を説明でき、漢方処方に配合されている代表的な生薬を例示できる。	現代医学との違いを例示しながら、漢方医学の特徴について概説できる。 配合生薬により漢方処方の系統的な分類が説明できる。 「証」や「陰陽」、「気血水」などの漢方医学の基本用語を例示して説明できる。 漢方薬の使用上の注意点、相互作用、副作用とその兆候を例示して説明できる。 代表的な漢方処方の適応症と配合を説明でき、漢方処方に配合されている代表的な生薬を例示し、その有効成分を説明できる。 現代医療の現場における漢方薬の役割を説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○						100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	時間内に実施した小テストについて解説を中心としたフィードバックを行う。
---------------	-------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	漢方医学の基本概念および診断方法	漢方医学の基本概念および診断方法について説明する。	SBO:E2-(10)-①-1~3,E2-(10)-②-1,ア-E2-②-2
	第2回	桂枝湯類(桂枝剤)および麻黄湯類(麻黄剤)	桂枝湯類(桂枝剤)および麻黄湯類(麻黄剤)の関連処方とその適応、主要な構成生薬について解説する。	SBO:E2-(10)-①-3,E2-(10)-②-1~3,E2-(10)-③-1,ア-E2-②-2
	第3回	柴胡湯類(柴胡剤)および瀉心湯類(芍薬連剤)	柴胡湯類(柴胡剤)および瀉心湯類(芍薬連剤)の関連処方とその適応、主要な構成生薬について解説する。	SBO:E2-(10)-①-3,E2-(10)-②-1~3,E2-(10)-③-1,ア-E2-②-2
	第4回	人参湯類(人参剤)と参耆剤、附子剤および地黄剤	人参湯類(人参剤)と参耆剤、附子剤および地黄剤の関連処方とその適応、主要な構成生薬について解説する。	SBO:E2-(10)-①-3,E2-(10)-②-1~3,E2-(10)-③-1,ア-E2-②-2
	第5回	白虎湯類と石膏剤および承気湯類(大黄剤)	白虎湯類と石膏剤および承気湯類(大黄剤)の関連処方とその適応、主要な構成生薬について解説する。	SBO:E2-(10)-①-3,E2-(10)-②-1~3,E2-(10)-③-1,ア-E2-②-2
	第6回	まとめ 中間試験	第1回から第5回までの理解度を確認するための試験を実施する。	
	第7回	循環器系疾患と漢方処方	循環器系疾患の治療に用いられる漢方処方について解説する。	SBO:E2-(10)-②-1,2,3,ア-E2-②-2
	第8回	代謝・内分泌系疾患と漢方処方	代謝・内分泌系疾患の治療に用いられる漢方処方について解説する。	SBO:E2-(10)-②-1,2,3,ア-E2-②-2
	第9回	腎・泌尿器系疾患と漢方処方	腎・泌尿器系疾患の治療に用いられる漢方処方について解説する。	SBO:E2-(10)-②-1,2,3,ア-E2-②-2
	第10回	リウマチ・自己免疫疾患・アレルギー疾患と漢方処方	リウマチ・自己免疫疾患・アレルギー疾患の治療に用いられる漢方処方について解説する。	SBO:E2-(10)-②-1,2,3,ア-E2-②-2
	第11回	外科・精神科・その他疾患と漢方処方	外科・精神科・その他疾患の治療に用いられる漢方処方について解説する。	SBO:E2-(10)-②-1,2,3,ア-E2-②-2
	第12回	消化器系疾患と漢方処方	消化器系疾患の治療に用いられる漢方処方について解説する。	SBO:E2-(10)-②-1,2,3,ア-E2-②-2
	第13回	現代医療における漢方薬の役割	現代医療の現場における漢方薬の役割について解説する。	SBO:E2-(7)-⑦-3, E2-(10)-②-3,ア-E2-②-2
	第14回			
	第15回			
	試験			
授業の進め方		講義を中心に行う。		
授業外学習の指示		配付した講義資料、実施した小テストを用いて知識の確認をすること。また、漢方薬は生薬の組み合わせで構成されており、個々の構成生薬については生薬学の観点から基原植物、含有成分などについても復習をかねて学習すること。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	「スタンダード 薬学 シリーズ3 化学系薬学Ⅲ. 自然が生み出す薬物」日本薬学会編、東京化学同人、4,200円、ISBN978-4-8079-1456-2 独自に作製したプリントを資料として配付する。
参考書	
参考URLなど	
その他	薬剤師に求められる10の基本的な資質のうち、以下に示す2項目の資質の醸成に寄与する。 5.基礎的な科学力 8.薬物療法における実践的能力 アドバンスト： 40%